

チャンドラゴーナ会 (バングラデシュの人々とともに歩む宮川医師夫妻を支える会)

宮川眞一医師報告会 ご案内

世界は狭くなったといわれますが、経済のグローバル化で世界の辺境の地では貧困はさらに深刻化しています。こうした地球上の課題にライフワークとして取組もうと、長年努力して医師となり昨年 9 月にバングラデシュに赴任した宮川眞一医師・理世夫妻が、一時帰国します。短期間の滞在日程ですが、宮川医師の関係の深い 4 地区(出身地愛媛県、青春時代をすごした関西、医師として働いた福岡、派遣元 NGO 事務局の東京)で報告会を開催することになりました。

特に福岡は、研修医から赴任まで勤めた場所でもあり、「愛と奉仕」のキリスト教信仰を支えた福岡女学院教会のある関係の深い場所です。今回は、福岡へは宮川眞一医師のみ来られます。

多くのご支援の方々へ感謝の挨拶と、現地の活動の様子を映像にて報告いたします。お繰り合わせの上、ご参加いただき激励をお願いいたします。

日 時 2006 年 8 月 24 日(木) 19:00 - 20:30

場 所 日本基督教団 福岡女学院教会 福岡市南区柳瀬 1-41-32

地図 <http://www.mapion.co.jp/c/here?S=all&F=mapi3024786060808091333>

参加費 無料 当日支援のためにチャンドラゴーナ会の入会またはカンパをお願いいたします。

(正会員年間 ¥3,000、賛助会員一口 ¥1,000、維持会費 ¥10,000 寄付・カンパは自由)



宮川眞一医師プロフィール

愛媛県宇和島市生まれ。同郷の故岩村昇氏(元 JOCS ネパール派遣医師)に影響を受け、海外医療協力を志す。神学部を経て医学部へ進学、心療内科医となる。2005 年 9 月、JOCS ワーカーとしてバングラデシュへ赴任。語学等の研修を終えて 2006 年 5 月よりチャンドラゴーナ・キリスト教病院で活動開始。

JOCS(日本キリスト教海外医療協力会)

1960 年設立の国際医療協力草分けの NGO で、「[使用済み切手を集めて](#)」国際協力をしている団体です。創設者の一人には聖路加病院日野原重明医師、20 数年前にはペシャワール会の中村哲医師を派遣しています。

チャンドラゴーナ会 (バングラデシュの人々とともに歩む宮川医師夫妻を支える会)

JOCS から派遣されている宮川眞一医師・理世夫妻のバングラデシュ南東部チャンドラゴーナでの、地域医療活動を推進するために必要な支援活動を行っています。今までの現地での活動報告はチャンドラゴーナ会ホームページ URL: <http://chandranet.npgo.jp> で見ることができます。

問合せ先 チャンドラゴーナ会 (バングラデシュの人々と共に歩む宮川医師夫妻を支える会) 事務局
〒811-1111 福岡市早良区脇山 1-15-12 国際多文化共生研内

E-mail: Sumi3Ngo@aol.com 郵便振替口座 01750-7-77534

TEL: 090-5925-1940 (角正信) TEL & FAX: 092-804-2632

(このご案内は、チャンドラゴーナ会発起人・会員・賛同者、JOCS 会員の方へお送りいたしました。

また、一般の方で関心のある方が幅広く参加していただくため、関係の団体でも設置・配布しています。)

「チャンドラゴーナ会」宮川医師派遣祝福式・壮行会 参加申込書 出席 欠席

(ふりがな) 氏 名		会員 種別	・会員 ・学生会員 ・賛助会員 ・維持・団体会員
(ふりがな) 住 所	〒		
電 話 F A X		E-mail アドレス	
所 属	(所属団体、勤務先、学校名など差し支えない範囲で)		

* 通信欄